

週報 太田中央ロータリークラブ



令和1年6月28日(金) 通算第1273回 6月第4例会

最終例会(夜間夫人同伴例会)

マリエール太田

【会長挨拶 前原信之】

こんばんは。

本日は大勢の皆様にご出席をいただきましてありがとうございます。

おかげ様で、最終例会を迎える運びとなりました。

一年間の目標である、会員増強の純増は果たせなかったものの、寄付目標は今週送金を済ませ100%以上を達成できたことは、ひとえに皆様のご理解のおかげです。先日 RI 財団管理委員長、ブレンダ・クレシーさんという見たこともない、多分オジサンからメールをいただきましたので全文を報告いたします。

「皆さまよりお寄せいただくロータリー財団へのご支援は、最も緊要なニーズがある地域社会を、改善する活動の力となります。このご支援を受け、ロータリアンは教育を支援し、疾病の予防と治療を促進し、安全な水をもたらし、世界平和を推進するプロジェクトを実施し、大きな変化をもたらすことが可能となります。

ロータリー財団へのあたたかいご支援に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。」という文面でした。どうぞ次年度におかれても引き続きよろしく願いいたします。

さて私事で恐縮ですが、20年ほど前、かつて所属していた団体で、5日間のフィリピンでの研修事業に臨む機会がありました。関東地区6県から集まった同志による出発前の結団式で、経験者である先輩の挨拶の中に「始まったら終わる」必ず終わりが来るから頑張ってきて、という節がありまして、以来、何度かの重責を担う時や、チャレンジする時に「始まったら終わる」を心の中で唱え、進んでくることができました。今回10数年ぶりにリーダーの役職、太田中央ロータリークラブの会長職をお預かりする機会をいただけたことは、多くの先輩方のご指導と仲間の叱咤激励のおかげだけではありませんが、役責の重さよりも、時間を創ることの難しさよりも、自分にとっては、並み居る先輩方の、増して師と仰ぐ先輩がいらっしゃるのに、役職上ではありませんが「上に立つ」「前に立つ」ということが、とっても辛くて、何度も、「始まったら終わる」の呪文を、数えきれないくらい唱えて、ここまで進んで来ることができました。若輩ながらも経験は大切なんだと実感してきました。

それにしてもクラブの運営には、立ち止まりそうな場面が幾度もありましたが、会員の皆様のご協力は基より小暮 SAA や蛭田会計を始めパスト会長方の貴重なアドバイスと、栗田事務局員の献身的な作業のお陰と、何より、陰でコソコソとコツコツと、似て非なる役責を担ってくれた、敬愛する榮井孝広幹事のおかげで、ここまでたどり着くことができました。

彼は私より幾つか年下ですが、おなかは出ていて、寝坊だし、老眼で小さい字が読めなくて、中身は僕より随分オジサンですが、盟友榮井幹事の支えをいただけたのは不肖前原、一生の宝物であると自慢します。

1年間、準備を含めると1年半、多くの先輩と仲間に支えていただき、感謝の言葉が尽きません。これから少しずつ恩返しをしていきたいと思えます。

最後になりますが次年度、萩原会長の健闘をお祈りするとともに、陰でお支えすることを約束申し上げ最後の挨拶とさせていただきます。

これにて会長職をお返しいたします。本当にありがとうございました。



例会

1. 点鐘及びロータリーソング省略
2. 会長挨拶・報告
3. 幹事報告
4. 委員会・部会報告
5. ニコニコ基金・出席報告 クラブ管理運営委員会 委員長 新野幸子
6. 点鐘及びロータリーソング省略

懇親会

司会 高木 勝章

1. 開会の言葉 クラブ会員組織・強化委員会 委員 家泉栄一
2. 新会長・新幹事へバッジの引き継ぎ
3. 前原会長・榮井幹事へ記念品贈呈
 - ①次年度 萩原会長・小坂橋幹事より 【前役員章（バッジ）】
 - ②クラブ広報委員会・長谷川委員より 【寄せ書き・額入り】
 - ③クラブ管理運営委員会・新野委員長より 【記念品】
4. 挨拶
 - ①前原会長・榮井幹事
 - ②次年度 萩原会長・小坂橋幹事
5. 乾杯 直前会長 森田健夫
6. 懇親会

